

### 1-1

## 豊かな自然を守り、育てる



### 現状・課題

- 三里松原をはじめとした豊かな緑や美しい海、清らかな河川は、住みやすいと感じる魅力の一つとなっています。しかし、森林荒廃や海岸侵食、漂着ごみや不法投棄などの影響を受け、町の自然が失われていく恐れがあるため、保全していく必要があります。
- 豊かな自然の恵みを受け、町にはアカウミガメやハマボウなどの絶滅危惧種が生育・生息しており、希少種の保全に努める必要があります。一方で、海外を起源とする外来生物が本来の生態系や人の生活に被害を及ぼしている現状があります。
- 本町には、自然環境の保全に取り組む団体が多く、町の環境保全に大きく貢献されています。しかし、活動者の高齢化による担い手不足が課題となっているため、人材育成などにより、担い手を創出していく必要があります。



▲町の鳥 カワセミ



▲環境学習



## 施策

### 施策1 三里松原と美しい海岸を守ります

- 海岸侵食や松枯れ対策など、海岸の保全・維持管理・整備を国や県とともに推進します。
- 住民・団体・企業などと連携し、美しい海岸の保全に取り組みます。

### 施策2 豊かな緑と清らかな河川を守ります

- 森林の間伐、竹の伐採、植樹活動により、荒廃した森林の再生に取り組みます。
- 清掃などの環境美化活動や水質の監視を行い、水質悪化を防止します。
- 森林や河川の保全に取り組む団体と連携し、意識啓発に取り組みます。

### 施策3 多様な生物が生息する環境を保護します

- アカウミガメをはじめとした絶滅危惧種の保護活動に取り組みます。
- 生態系や人の生活などに被害を及ぼしている特定外来生物を防除します。

### 施策4 自然とふれあう機会をつくり、人の輪を広げます

- 住民に対し、町の豊かな自然とふれあう機会を提供し、環境を守る意識を啓発します。
- 自然を守るボランティア活動団体と連携し、環境保全を実践する人材育成に取り組みます。
- 海岸清掃や植樹活動などの取組を情報発信し、住民・団体・企業などの環境保全活動への参加を拡大します。

## まちづくりの成果指標

町の自然環境のよさに対し、「満足」「やや満足」とした割合	現状値[2019(令和元)年]	目標値[2030(令和12)年]
	63.7%	70%
再生すべき荒廃森林面積	現状値[2020(令和2)年]	目標値[2030(令和12)年]
	304ha	全て解消

## 基本目標 1 自然を守り、活かし交流を生むまち

### 1-2

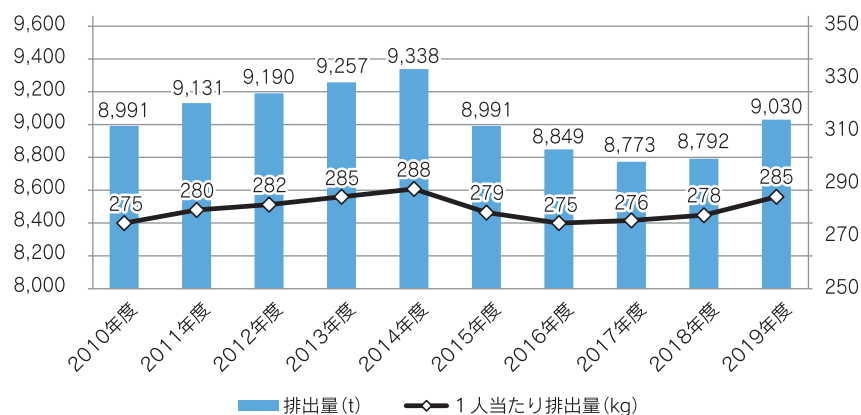
## おいしい水、きれいなまちを守る



### 現状・課題

- 本町の水道水は85%を地下水で賄っており、水のおいしさは、町の魅力の一つとなっています。
- 水道事業は、開始から約60年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。今後も安全な水道水を安定的に供給するためには、施設の定期的な改築更新が必要です。
- 豊かな自然を守るためには、川や海の水質を維持していくことが重要であり、今後も下水道事業や小型合併処理浄化槽事業を継続していくことが必要です。
- 本町のごみの排出量は、近年減少傾向が続いていましたが、2018（平成 30）年度に増加に転じています。引き続き、ごみの減量化や再資源化の取組を継続することが必要です。
- 近年、廃棄物などの不法投棄、ごみの屋外焼却や騒音などの問題が増えている現状があります。
- 人口減少や高齢化の進行などを背景に、空き地が多くなり、ごみなどの不法投棄や害虫の発生など住民の生活に悪影響を及ぼしているものがあります。また、違法な屋外広告物の設置により、町の景観を阻害している現状があり、住民の生活環境や町の景観を守るための取組を推進する必要があります。

#### ■岡垣町のごみ排出量と住民一人当たり排出量の推移



【資料】遠賀・中間地域広域行政事務組合



## 施策

### 施策1 おいしい水を安定して供給します

- 耐用年数を迎える老朽管や老朽施設を計画的に更新します。
- 「水のおいしさ」を、町公式ホームページや広報おかがき、イベントなどを通じて町内外に幅広くPRし、定住・交流・関係人口などの増加につなげます。

### 施策2 生活排水をきれいに処理します

- 下水道施設の整備・改築更新を計画的に進めます。また、下水道処理区域外では、小型合併処理浄化槽の設置を促進します。

### 施策3 ごみの減量化・再資源化を推進します

- ごみの減量化・再資源化に向けた啓発などに取り組み、住民の意識を高めます。

### 施策4 生活の環境悪化を防止します

- 不法投棄、騒音や悪臭、ペットの飼い方や動物による被害など、環境悪化を防ぐための取組を推進します。
- 地域の清掃活動を支援し、促進するなど、住民が暮らしやすい環境づくりに取り組みます。

### 施策5 美しい都市景観をつくります

- 緑化された公共施設、都市公園などの広場の維持管理に取り組みます。
- 景観を阻害する違法広告物の撤去の実施や空き地などの適切な管理を促進します。

## まちづくりの成果指標

上水道有収率	現状値[2019(令和元)年]	目標値[2030(令和12)年]
	83.1%	87%
住民1人当たりのごみの排出量	現状値[2019(令和元)年]	目標値[2030(令和12)年]
	285 kg	275 kg

### 1-3

## 地域から地球温暖化を防止する



### 現状・課題

- 政府は国内の温室効果ガス排出量を2050(令和32)年までに実質ゼロにすることを宣言しており、地球温暖化対策の更なる取組が求められています。
- 地球温暖化を防止する持続可能な脱炭素・循環型社会を構築するため、温室効果ガス排出量の削減に向けた更なる省エネルギー対策や太陽光・風力発電の導入による再生可能エネルギーへの転換などを推進していく必要があります。



▲ため池水面を活用した太陽光発電



## 施策

### 施策1 一人ひとりの省エネ対策により環境負荷を軽減します

- 日常生活における節電など、環境負荷の軽減に向けた取組を促進します。
- 公共施設における照明のLED化などの省エネ対策により、温室効果ガス排出量の削減を図ります。

### 施策2 環境にやさしいエネルギーの導入を進めます

- 家庭や事業所に再生可能エネルギーの導入効果などを情報発信し、再生可能エネルギーの活用を促進します。
- 公共施設への再生可能エネルギー設備などの導入を進めます。

## まちづくりの成果指標

	現状値[2013(平成25)年]	目標値[2030(令和12)年]
町の事務・事業による温室効果ガス排出量	5,123t-CO2	3,074 t-CO2